楡木小学校　学校通信
No. 2
なりたい自分になる！
PLUS ULTRA
令和６年４月１２日
文責　余宮

子どもたちのにぎやかな声が学校中に響きます。春はいいなと、つくづく感じている今週です。

PLUS ULTRA って、なんか聞いたことがある？

令和６年度が始まりました。朝から健やかな子どもたちの声や表情が、学校を彩ります。春はやっぱり高揚感があります。そして、つい無敵感も生まれてしまいます。何でもできる。そんな気持ちにさせる春の威力は、改めてすごい。

ただ、無敵感が大きすぎると少々やりすぎることもある。春の要注意点。一人ひとりの子どもたちと、その個性的な歩みにしっかりと寄り添いながら、たまには休憩しながら、むしろ逆戻りも楽しみながら、ちょっとずつ進んでいきたいと思います。

さて、登校中の子どもたちの話に耳を傾けてみると、さすが目ざとく校長室前に「PLUS ULTRA」の文字が加わったことに気づいてくれているようです。

「先生、あれでしょ。アニメの。あっ、漫画の。」（アニメ最新シリーズが始まったみたいね）

「『さらに向こうへ』って。今、最終章に入っているんだよ」

そうよね。「僕のヒーローアカデミア」（堀越浩平作、集英社「週刊少年ジャンプ」掲載中）の漫画から、イメージを広げてくれたお子さんもたくさんいるようです。ただ、この言葉、実は古～くから使われていた言葉なんです・・・

古くはローマ神話時代のジブラルタル海峡の近く、ヘルクレス（夜空に輝く星座にもなっている神話に登場する英雄です）によって建てられた柱には「ネク・プルス・ウルトラ（更に先はない）」と、船員たちや探検家たちがそれ以上進まないための警告が！当時は、地球がまるい（球体）であることも分かっておらず、ここから先は文字通り海が滝のように落ちてしまう。本当に、この先には進むべからず、という警告の言葉だったようです。

時は過ぎ、今はまさに大航海時代。そこに現れたのが 16 世紀当時のスペイン王・神聖ローマ帝国皇帝のカルロス一世。カルロス一世は、その柱の言葉を逆手に取り、古代の警告を無視し、リスクをとってさらに前進することを奨励します。だって、大航海時代の幕開けですから。そして、そのときに使われたのが「PLUS ULTRA（プルス・ウルトラ）」というフレーズ。新しいことを発見するためには、ある意味危険もいとわず、これまでの常識を疑い、壊し、新しい価値観を創り出していこう、そんな勢いのあるキャッチフレーズとして使われた言葉が「PLUS ULTRA」。現在もスペインの国章にはその言葉が刻まれており、その志はいまにも受け継がれています。

（参照：ウィキペディア）

「みんなでなりたい自分になる」第二章として、もっと向こうへ、限界のその先を目指して取り組んでほしいと願い、本年度はこの言葉「PLUS ULTRA」を楡木小学校の旗印としました。もちろん私たち教員も、前のめりに、ゆったりと、子どもたちの歩調と同じくらいのスピードで、子どもたちと同じように学び成長していきたいと思っています。

次ページに、本校職員を紹介しています。どうぞよろしくお願いします。

（ホームページ版には個人名を掲載していません。ご了承ください）